

岡山大学の国際化に関する将来ビジョンと戦略 – Toward 2035 –

1. 国際的に認知され、優秀な学生に選ばれる大学

- ① ESD for 2030 を先導し全学展開
- ② 優秀な外国人留学生の受入を促進
- ③ 海外大学等との戦略的パートナーシップを構築
- ④ ダブルディグリー・ジョイントディグリーの整備
- ⑤ 高度外国人材の育成強化

2. 国際通用性を有する教育を提供する大学

- ① 質保証された教育コンテンツを開発・整備
- ② SDGsを柱としたプログラムを開発
- ③ GDPの充実・GDPを基盤とした共修環境の創成

3. 日本人学生と外国人留学生が共修できる大学

- ① グローバルキャンパスの実現
- ② 多文化共修科目を大学全体で効果的に運用
- ③ 異文化理解や協働について学ぶ機会を提供
- ④ グローバル・リーダーの育成

4. 学生とともに地域を共創する大学

- ① 留学生就職促進教育プログラムの運用
- ② 地域社会と連携して取り組むプログラムの実施
- ③ 地域社会の国際化・グローバル化に貢献

5. 社会変革を先導する地域中核研究大学

- ① 世界を見据えて研究力の卓越性を極める
- ② Well-being社会の実現に貢献

6. 国際対応力を備えた大学

- ① 世界水準の教育研究拠点の構築
- ② 外国人教職員の積極的な採用
- ③ 事務職員の高度化・DX化の推進
- ④ 大学業務のグローバルスタンダード化
- ⑤ キャンパスのさらなる国際化

7. 長く愛される大学

- ① 地域との連携の強化により信頼される大学へ
- ② 同窓会のネットワーク機能を強化